

第3号様式

令和6年度 第5回西部公民館運営審議会 会議録

- 1 開催日時 令和7年3月19日(水曜日)  
午後2時から3時08分
- 2 開催場所 船橋市西部公民館 2階 第1・2集会室
- 3 出席者
  - (1) 委員 宍戸委員長、坪木副委員長、牛山委員、新宮委員、中西委員、日出委員、村尾委員
  - (2) 事務局 西部公民館長、丸山公民館長、塚田公民館長、葛飾公民館長、西部公民館長補佐
- 4 欠席者 中道委員、法典公民館長
- 5 議題  
【公開】
  - (1) 各公民館の事業報告(12月19日から3月31日)
  - (2) 令和7年度各公民館の事業計画
- 6 傍聴者 なし
- 7 決定事項
  - (1) 各公民館の事業報告(12月19日から3月31日)を承認
  - (2) 令和7年度各公民館の事業計画を承認
- 8 議事 次頁より
- 9 次回は令和7年4月17日 午後2時から  
西部公民館 第1・2集会室にて開催予定
- 10 問い合わせ先 船橋市西部公民館 TEL:047-333-5415

令和6年度 第5回 西部公民館運営審議会  
議事録

日	時	令和7年3月19日(水)
		午後2時00分～3時08分
会	場	西部公民館 2階 第1・2集会室

午後2時00分開会

○事務局（西部公民館長補佐）

本日はお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。開会に先立ち、配付資料の確認をさせていただきます。

まず、机の上にお配りしてある資料は、次第と席次表、令和7年度西部公民館運営審議会日程と、事前にお送りしていた資料の差し替え分として、第4号様式、A4判のものが1枚あるかと思います。その4点です。そのほかに、社会教育課から「船橋の社会教育」と「まなびの風」が委員各位に配付されています。また、各公民館が作成しました館報もお配りしていますので、後ほどご覧ください。

次に、事前にお送りした資料で、本日お手元にご用意いただきたいものは、事業報告と令和7年度事業計画の第4号、第5号様式の2点です。不足はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ただいまから令和6年度第5回西部公民館運営審議会を開会します。

議事に入ります前に、定足数についてご報告いたします。本日は中道委員から、都合により欠席のご連絡をいただいております。委員8名中7名の方が出席され、半数以上の出席がございますので、船橋市公民館条例施行規則第15条第3項の規定により、この会議が成立します。また、船橋市情報公開条例第25条の規定により、船橋市の設置する附属機関の会議は原則として公開とされておりますことから、本日の審議会について傍聴人の受付を行ったところ、本日傍聴人はおりませんので、ご報告いたします。

なお、本日、法典公民館の館長は欠席させていただいております。法典公民館の説明については西部公民館長が行いますので、よろしく願いいたします。

それでは、これよりは船橋市公民館条例施行規則第15条第2項の規定により、委員長に議長となつていただき、議事を進めていただきます。委員長、よろしく願いします。

○宍戸委員長

自席のまま失礼します。

お出かけ前にちょっとお天気が大変だったと思いますけれども、お忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。令和6年度第5回西部公民館運営審議会、ただいまより入りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、審議に入ります前に、議事録署名人を指名させていただきます。村尾委員をお願いしたいのですが、よろしいでしょうか。

○村尾委員

はい。

○宍戸委員長

よろしく願いいたします。

それでは、審議に入ります。議事（１）「各公民館の事業報告」を、西部公民館から順次お願いします。

#### ○西部公民館長

12月19日から3月31日までの期間の西部公民館の事業報告を説明いたします。お手元の資料で、報告の1ページから5ページをご覧ください。

初めに、青少年事業が3件です。

1件目、「ふなばしハッピーサタデー事業」は、全11回のうち1月、2月、3月分を計画どおり実施し、今年度の「ふなばしハッピーサタデー事業」を完了しました。年間を通して、子どもたちが互いに交流しながらスポーツや文化活動、季節の行事などに親しめる体験の機会を適切に提供することができました。

2件目は、小栗原小学校へ出張講座、「中山まちのむかしといま」です。学校と地域が連携・協働する「地域学校協働活動」の取り組みの一環として、日頃から西部公民館で活動されている郷土史愛好家中田修氏をゲストティーチャーとして小学校へ派遣しました。3年生の全生徒を対象に、身近なまちの風景を今と昔の写真で比較しながら紹介する事業を行い、子どもたちが自分の住む地域への関心をより高められる学びの機会を適切に提供することができました。

青少年事業の3件目は、恒例の「子どもフェスティバル」を、3月1日（土）に開催しました。今年度も多くの団体やボランティアさんのご協力により、盛大なイベントを開催することができました。子どもたちのダンスや武道の発表、遊び体験コーナー、中国文化の紹介、模擬店、スタンプラリーなど、様々な企画で地域の子どもたちに交流と体験の機会を提供し、参加者3,154人の盛況で、事業の目的を達成しました。

青少年事業の報告は以上です。

次に、資料の2ページ、成人事業が2件です。

1件目、「本館家庭教育セミナー」は、全3回のうち最後の回として、「早わかりNISAセミナー」を開催しました。参加者は6人と少なかったのですが、アンケート結果では「勉強になった」と好評でした。家庭教育セミナーは小中学生とその保護者が対象であるため、仕事などで忙しい子育て世代が参加しやすいよう、今年度は3回とも土曜日に開催しました。次年度も日程やテーマをよく検討しながら、引き続き家庭教育の推進に向けて取り組んでまいります。

成人事業の2件目は、「アフタヌーンヨガ」です。新たな利用者層の拡大を目的として、日頃は仕事などで公民館に来られない人でも参加しやすい時間帯を選び、初心者でも気軽に参加できるヨガ講座を全2回コースで実施しました。アンケート結果から、参加者の満足度が大変高く、心身のリラクセスと健康増進に役立ったと評価しています。一方で、この講座をきっかけとして公民館を初めて利用したという人は、参加者15人中3人と少数だったため、事業の主なねらいであった新たな利用者層の拡大に関して言え

ば、目的をあまり達成できない結果となりました。今後は講座の内容や募集方法などをさらに工夫しながら、公民館の新たな利用者層をさらに拡大していけるよう、引き続き取り組んでまいります。

続いて、高齢者事業です。資料の2ページから3ページにかけて、「西部寿大学」、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」、「元気応援講座」の3事業を、それぞれ記載のとおり実施し、今年度の計画を全て完了しました。このうち、参加者数が空欄となっているところを報告します。また、通年事業の場合は、年度の最終回が完了した時点で評価欄の記載をするのですが、この会議の資料を作成した時点で事業が完了していなかったものについては、評価欄も空欄となっているため、参加者数のご報告と併せて評価欄についても口頭で説明をさせていただきます。本日は口頭でのご説明となりますが、この内容は後日、資料に追記して市のホームページで議事録と併せて公開いたしますので、後ほどそちらのほうでもご確認いただくことができます。

それでは、まず2ページの「西部寿大学」です。3月12日の回の参加者数は36人でした。評価といたしましては、今年度も60歳以上の方を対象に、体操、講話、音楽など、様々な分野で年10回実施し、地域の高齢者の方々に健康づくり、生きがいつくり、仲間づくりの機会を適切に提供できました。

次に、3ページの「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」です。3月19日の回は、本日の午前中に実施しまして、参加者数は30人でした。評価欄といたしましては、今年度も健康づくり課と共催で、65歳以上の市民を対象に「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」を年11回実施し、地域の高齢者の方々が日常生活に必要な動作を維持し、健康づくりと介護予防を目指すことのできる機会を適切に提供しました。事前申込みが不要のため、いつでも気軽に参加しやすい事業となっています。

高齢者事業についての説明は以上です。

続きまして、その他事業の報告です。資料の3ページから5ページまで、その他事業といたしまして、「本はともだち」、「西部子育てサロン」、「おもちゃの病院」、「親子で楽しもう」、「わくわくセミナー クラシックギターの響き」、「地域ふれあいコンサート（ゴスペルコンサート）」、「館報の発行」と、計7件の事業を計画どおりに実施しました。

初めに、参加者数と評価欄が空欄のところをご報告します。まず3ページ、「本はともだち」は、まだ今年度の事業が完了しておりません。最終回は来週3月27日に実施予定のため、事業が完了いたしましてから、資料のほうに参加者数と評価を入力してホームページに掲載しますので、それを持ちまして今年度のご報告に代えさせていただきます。

次に4ページ、「西部子育てサロン」です。3月11日の回の参加者数は22人でした。評価といたしましては、今年度も本中山地区社会福祉協議会と共催で、0から3歳児と

その保護者を対象に年12回実施し、運動や工作、コンサート、季節の行事など、創意工夫を凝らした内容で、毎月様々なイベントを親子で楽しんでいただきました。保護者同士の会話も見られ、地域の親子の交流や情報交換の場ともなっているため、今後も継続してまいります。

次に、「おもちゃの病院」です。3月15日の回の参加者数は18人でした。評価といたしましては、今年度もふなばし「おもちゃの病院」と共催で、故障したおもちゃを無料、もしくは部品代の実費で修理する事業を年12回実施し、各回多くの方が様々なおもちゃの修理を依頼しに来てくれました。子どもたちに物を大切にすることを育んでもらい、SDGsの推進につなげるため、今後も継続的に実施してまいります。

終わりに、その他事業の7件から抜粋して2件、簡単に説明いたします。5ページの「わくわくセミナー クラシックギターの響き」と、「地域ふれあいコンサート（ゴスペルコンサート）」は、どちらも音楽の生演奏を楽しんでいただけるコンサートの企画でした。クラシックギターは81人、ゴスペルは120人と、それぞれ大勢の方に参加していただき、アンケート結果も大変好評でした。地域の音楽環境がより豊かになることを期待して、これからも身近な公民館で生の音楽に親しんでいただける機会を適切に提供してまいりたいと考えております。

西部公民館からの事業報告の説明は以上でございます。

○宍戸委員長

ありがとうございます。

続きまして、法典公民館、お願いいたします。

○西部公民館長

12月19日から3月31日までの期間の法典公民館の事業報告をご説明いたします。資料は報告の6ページから9ページをご覧ください。

初めに6ページ、青少年事業です。「絵本の読み聞かせ」と「ふなばしハッピーサタデー事業」をそれぞれ記載のとおり実施し、両事業とも今年度の計画を全て完了しました。このうち、参加者数が空欄のところを報告します。「ふなばしハッピーサタデー事業」、3月15日の回は4名の参加でした。

続いて、成人事業です。「法典小学校家庭教育セミナー」、全3回のうち最終回を記載のとおり実施し、今年度の計画を全て完了しました。

続いて7ページ、高齢者事業は、「法典寿大学」と「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」の計2事業を計画どおり実施し、今年度の事業を全て完了しました。このうち、参加者数と評価欄が空欄のところをご報告します。「法典寿大学」、3月13日の回の参加者数は62名でした。評価といたしましては、「いつも元気で健やかに」をテーマに、体操、歴史、音楽など、様々な学習を実施し、高齢者の健康維持と仲間づくりを推進しました。続いて、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」の3月10日の回の参加者数は

33 人でした。評価は、記載しているとおりで。

次に、8 ページから 9 ページはその他事業として、「親子クリスマスコンサート」、「子育て支援講座（ぼんぽこ広場）」、「救急フェア」、「ふなばし音楽フェスティバル～地域ふれあいコンサート～」の計 4 事業を予定どおりに実施し、今年度の事業計画を全て完了しました。

このうち抜粋して 2 件、簡単にご説明します。

まず、「救急フェア」は、法典 3 丁目町会及び松風会町会と共催で、危機管理課職員を講師に迎え、いざというときに備えた防災訓練を行いました。予定していた煙中ハウスは強風のため中止となりましたが、起震車、心肺蘇生訓練、AED 訓練については参加者ほぼ全員が体験することができました。地域住民の皆さんが連携して現実感のある訓練を実施し、災害時の行動を学ぶことができ、当初の目的を達成しました。

最後に、「ふなばし音楽フェスティバル～地域ふれあいコンサート～」です。第 29 回ふなばし音楽フェスティバルの一環として、例年どおり法典地区ふれあいコンサート実行委員会と共催で開催しました。今年は船橋市出身のジャズボーカリスト、桃井まりさんをはじめ、ジャズピアニストの佐藤まさみさん、ジャズベーシストの石原雄介さんをお迎えし、ジャズで聴く映画音楽の世界をお届けしました。参加者 162 人の大盛況となり、アンケートの評価も高く、地域の皆さんにジャズの生演奏をより身近に感じてもらい、音楽の裾野を広げる機会を適切に提供できたものと考えています。

法典公民館からの事業報告の説明は以上でございます。

#### ○宍戸委員長

ありがとうございました。

続きまして、丸山公民館、お願いいたします。

#### ○丸山公民館長

丸山公民館の 12 月 19 日から 3 月 31 日までの事業報告を行います。資料は 10 ページからとなります。

最初に、青少年対象事業、「ふなばしハッピーサタデー事業」です。3 月 22 日のスポーツ雪合戦ですが、昨日 3 月 18 日時点で 26 名の応募をいただいているところです。まだ全て事業が終わってはいませんが、簡単な科学工作や少年野球チームへの体験参加など、12 回の事業を計画し、うち 11 回実施することができております。引き続き子供が参加したいと感じられる事業を実施していきたいと思っております。

評価に記載させていただいておりますが、2 行目に「感じられる事業して実施していきたい」となっております。「感じられる事業を実施していきたい」の間違いです。申し訳ございません。

次に、「巡回児童ホーム 小学生わくわくタイム」です。1 月、2 月に資料のとおり実施いたしました。子供同士や保護者の皆さんのコミュニケーションの場となっている

ため、今後も継続する予定です。

「第40回子どものつどい」ですが、参加者数が空欄となっております。3,054名でご記入をお願いいたします。この事業は、町会・自治会、PTAなどの関係団体で組織する丸山公民館子どものつどい実行委員会と共催で実施しております。今年度は天候にも恵まれ、暖かい日差しの下、元気にお餅をつく子供や、模擬店も賑わいを見せておりました。運営スタッフには地域の小学生にもお手伝いとして参加してもらっており、地域が連携し交流を深める場となりました。地域の小学生ですが、年々少なくなっているとの指摘が実行委員会で挙がっておりますので、学校とも事前にお話をしていきたいと思っております。

続きまして、成人対象事業です。「新春まるやま寄席」ですが、資料のとおり実施いたしました。募集定員である150名も数日で達し、また当日の欠席も少なく、改めてイベントへの関心の高さがうかがえました。引き続き、心豊かに潤いのある生活が送れるよう、伝統芸能、文化、芸術に触れる機会を提供してまいります。

続きまして、高齢者対象事業です。「丸山さわやか学級」ですが、資料のとおり12月20日、2月21日に実施し、最後に明後日21日の浪曲を残すのみとなっております。「丸山さわやか学級」は、企画運営を地域の有志で組織するさわやか学級運営委員会が行う市民協働の形で実施しております。このため、内容も高齢者のニーズに合ったものが実施できているものと考えております。引き続き、高齢者の生活が豊かになるような企画を、さわやか学級運営委員会と協力しながら実施してまいります。

続きまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」ですが、資料のとおり実施いたしました。空欄となっております3月5日の参加人数ですが、31名でした。追記をお願いいたします。「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」につきましても、地域の高齢者の健康維持・増進のため、引き続き実施してまいります。

12ページをご覧ください。続きまして、その他対象事業です。「Bon voyage!～ミュージカル音楽で巡るワールドクルーズ～」です。Bon voyageとは、フランス語で「よい旅を」という意味だそうです。ミュージカル音楽は丸山公民館では初めての開催でしたが、地域ふれあいコンサート参加事業で多くの方にご来館いただき、改めて音楽への関心の高さをうかがえました。当日は音楽に合わせて映像を映し出すなどの演出もあり、参加者はミュージカルの世界を楽しめていました。

次に、「巡回児童ホーム 0・1・2歳ぽかぽか広場」ですが、資料のとおり実施いたしました。評価は、0・1・2歳のぽかぽか広場では、自由に遊べる時間を設けつつ、参加者全員で触れ合う遊び体操など、親子が一緒に楽しめる内容を実施いたしました。今後も継続して実施する予定です。

次に、「丸山おはなし会」ですが、こちらも資料のとおり実施いたしました。空欄となっております3月15日の参加者数ですが、9名でした。追記、記入をお願いいたしま

す。「丸山おはなし会」は、親子で楽しめる貴重な場となっており、また定期的に参加してくれる人もいることから、今後も周知方法を工夫するなど、参加者を増やしていきたいと考えております。

最後に13ページ、「館報の発行」です。資料のとおり発行、地区に配布いたしました。館報は主に主催事業の案内や報告、社会教育関係団体の情報などを掲載しています。地域新聞社を利用したポスティングにより、公民館をあまり利用しない地域住民へ配布を行っております。今後も配置や書体などを工夫し、読者に内容の伝わりやすい紙面づくりを心がけていき、公民館の活動内容を発信していきます。

評価欄の1行目、「新聞折り込みにより」となっておりますが、「地域新聞社を利用したポスティングにより」の間違いです。大変申し訳ございません。

丸山公民館からは以上です。

○宍戸委員長

ありがとうございました。

続いて、塚田公民館、お願いいたします。

○塚田公民館長

塚田公民館の12月19日から3月31日までの事業報告をご説明いたします。ページは14ページからです。

初めに、青少年事業です。「ふなばしハッピーサタデー事業」は、全12回中、9回目から12回を資料のとおり実施しました。3月15日は、塚田公民館の社会教育関係団体でもある全国友の会船橋方面の皆様にご協力をいただき、アイシングクッキーづくりを行いました。20名定員のところ90名の申し込みがあり、うれしい反面、半分以上の小学生に体験してもらえないもどかしさが残りました。来年度は5月に午前と午後の2回に分けてお菓子づくりを開催する予定となっております。

評価といたしましては、様々な体験の機会を提供でき、来年度以降も月1回程度継続的に開催していきたいと思っております。

資料の追記、訂正をお願いいたします。「ふなばしハッピーサタデー事業」全11回ありますが、全12回に訂正をお願いいたします。そして、3月15日の参加人数を15で追記をお願いいたします。

次に、「こどもまつり」です。お手元にA4でピンクの館報を配付しましたので、参考をお願いいたします。2月15日の10時から15時で開催、塚田小学校や社会教育関係団体のつかだおはなし会、日大理工学部鉄道研究会、東武アーバンパークライン、塚田公民館で活動の子ども食堂など、様々な団体に協力をいただき、地域交流の場の提供ができました。また、運営には行田中学校よりボランティアを募り、模擬店や駐車場整理など、様々なコーナーで活躍をしていただきました。参加人数は資料のとおりです。

続きまして、成人事業です。「まなぼう教室『船橋本町～御殿通りと大神宮を探る』」

は、生涯学習コーディネーターとの共催により開催。船橋地名研究会の山本稔氏を講師に、1月14日は講話、21日は講話で学んだ知識を基に散策を行いました。参加人数は定員の半分と少なかったのですが、参加者からは次回開催を望む声が相次ぎました。参加者数は資料のとおりです。

次に、「手作りワークショップ 味噌作り」は、昨年度に引き続き廣瀬夏子氏を講師に開催。大豆を柔らかくなるまで茹でて持ってきてくれるので、潰すところからの工程となります。講話には当然最初からの工程と保存方法を教わり、6か月後が楽しみという声が聞かれ、参加者からの評価も高かったです。材料費の高騰から、受益者負担も上げざるを得ない状況となっているのが残念な形になっています。参加者数は資料のとおりです。

次に、「スマホの基本とLINE体験（手話つき）」です。2月26日に資料のとおり実施をしました。こちらは手話の希望の方はいらっしゃらなかったです。

続きまして、「花めぐりウォーキング」は、船橋市スポーツと健康を推進する会を講師に、3月23日、これから資料のとおり実施をいたします。

続きまして、高齢者事業です。「塚田寿大学」、「塚田元気クラブ」、「ふなばしシルバリーハビリ体操教室」は定例事業のため、資料のとおりとさせていただきます。「塚田元気クラブ」、3月11日の参加人数の追記をお願いいたします。参加者数は21人です。「塚田元気クラブ」については、最後3月25日の開催があることで、評価がまだ記入がされていない状態です。

続きまして、その他事業です。「防災関連講座」は、昨年度に引き続き、旭町町会との共催により3月9日に開催しました。公民館にある防災倉庫の備蓄品をほとんど出して、実際に手に取って見てもらい、組み立てられるもの、稼働できるものは組み立てて稼働させたりしてもらいました。講話では、避難所が開設できるか否かの判断や、避難所が開設できた場合の受付からの一連の流れをご説明させてもらいました。最後にグループディスカッションで、町会に入会していない方などへの対応について話し合いをしていただき、終了となりました。参加人数の追記をお願いいたします。参加人数は32人です。

次に、「こどもおはなし会」、「卓球台開放」、「子育て支援 ひよこ広場」、こちらは定例事業のため、資料のとおりとさせていただきます。「こどもおはなし会」につきましては、3月8日の参加人数が9人です。そして、3月22日（土）が最後の開催となります。「卓球台開放」につきましては、3月6日、21人の参加がありました。

最後に、「館報つかだの発行」です。こどもまつり号として、2月7日にちいき新聞の折り込みにて配布をいたしました。

塚田公民館からは以上です。

○宍戸委員長

ありがとうございました。

続きまして、葛飾公民館、お願いいたします。

#### ○葛飾公民館長

葛飾公民館の12月19日から3月31日までの主な事業報告と参加人数について説明いたします。資料は19ページからとなります。

最初に、青少年対象の「ふなばしハッピーサタデー事業」です。全11回のうち10回まで、表のとおり終わっております。27日の春休みのお昼ごはんは、ハンバーガーとポテト、バナナシェイクをつくって食べる事業となっており、20名定員のところ61名の応募があり、抽選となった人気の事業となりました。こちらがまだ終わっていないので、評価を記入しておりません。

成人対象の「子育て支援事業『すまいる広場』」は、3月13日に全10回の事業を終了しました。13日の参加者は4名でした。参加者の記入をお願いいたします。0歳から1歳半の子供を持つ親子が対象ということで、地域柄もあり、皆さん保育園に入所しており、毎回参加者集めに苦勞しております。しかし、育児休暇中の方にとって、子育ての情報を得たり、子供同士を遊ばせたり、とても貴重な場所となっているので、参加していただけるよう情報を周知したいと思っております。来年度も引き続き周知を工夫して実施してまいります。

続きまして、「葛飾公民館本館家庭教育セミナー」は、全2回が終わりました。2回とも調理実習としましたが、人気が高く、いずれの回も定員を大きく超える申込みがありました。来年度も家庭教育の一助となるよう講座を企画してまいります。

続いて、「色えんぴつを楽しむ」講座は、全3回の講座を終了しております。3月6日は参加者12名でした。参加者数の記入をお願いいたします。身近にあるミニトマトやアマリリスなど、色鉛筆で色をつけるという基本から学ぶ講座で、大変好評でした。申込みの人数も多かったため、今後もこういった事業を企画したいと考えております。

高齢者対象事業として、「かつしか寿大学」は、全10回を昨日18日の落語で締めくくりました。通常の「かつしか寿大学」の受講者に加え、公開講座として広報で100名の追加募集を行い、合計123名の参加をいただきました。参加者数の記入をお願いいたします。寿大学のご希望者が増えてきていますので、今年度80名の定員でしたが、来年度は100名に募集人数を増やす予定です。

「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は、全11回開催いたしました。3月11日は57名の参加者がありましたので、記入をお願いいたします。

その他に参りまして、「葛の葉らいぶ」です。全5回全て終了しております。葛の葉ライブボランティア実行委員会の協働の下、バラエティーに富んだジャンルのコンサートができました。来年度も魅力あふれるコンサートを企画していきます。

次に、「第30回こどもまつり」を2月16日に開催しました。子供ボランティアも24

名参加し、合計 2,748 名の参加をいただきました。昨年度より人の入りが少なかったの  
で、参加団体や内容の変更など、来年度課題として検討してまいります。

「館報の発行」は、2月にこどもまつりのお知らせとして配布したものを本日テーブ  
ルの上に置かせていただきましたので、後ほどご覧ください。

「福祉のまちづくり支援事業 ちびっこ広場」は、全 12 回終了しております。3月  
17日は24名の参加がありました。参加者数をご記入ください。

最後に、「地域学校協働活動の推進事業」として、全2回、前回報告しました11月  
30日、葛飾中・行田中合同管弦楽アンサンブルコンサートと、今回報告の3月1日、葛  
飾小学校音楽部のスプリングコンサートを開催することができました。親御さんをはじ  
め、地域の方々の前で日頃の練習の成果を間近で見せることができ、この機会を楽し  
んでもらうことができました。来年度も引き続き学校と連携し、コンサートを行ってい  
く予定です。

葛飾公民館の事業報告につきましては、以上でございます。

○宍戸委員長

ありがとうございました。

それでは、この事業につきまして、ご質問、ご意見等がございましたらお願いいたし  
ます。

まず、西部公民館につきましてはいかがでしょうか。どうぞ。

○村尾委員

2ページの「アフタヌーンヨガ」の件ですけれども、参加者が15名と伺いました。年  
代として何歳くらいの方が多かったですか。

○西部公民館長

比較的高齢の方が多く集まりました。想定していたのは、平日お仕事をしているなど、  
日頃はなかなか公民館に来られない現役世代の方を呼び込みたかったのですが、実際  
には高齢者の方が多く集まったことに対しましては、今後は募集のときに少し年齢の縛り  
をつけるとか、そういった対策が必要かと考えているところでございます。

○村尾委員

分かりました。午後のヨガというのが、若い方が来てくださったらいいなと思って、  
今伺ってしまいました。ありがとうございます。

○新宮委員

逆に年齢を縛ったら、もっと少なくなってしまう。

○西部公民館長

集客が難しいでしょうか。

○新宮委員

それから、1ページの「ふなばしハッピーサタデー事業」の3月1日のもとなかゲー

ムセンターと、「子どもフェスティバル」が3月1日とあるのですが、「子どもフェスティバル」の中で もとなかゲームセンターというのをやったのかな。

○西部公民館長

集客をねらって「子どもフェスティバル」の日に併せて、児童ホームのハッピーサタデーをこの日に行ったということです。

○新宮委員

分かりました

○宍戸委員長

法典公民館さんについてはいかがですか。

どうぞ。

○新宮委員

6ページの「ふなばしハッピーサタデー事業」のこどもわくわく広場というのは、何をやったのか、具体的な内容を。

○西部公民館長

子ども向きの工作を中心に行いました。

○新宮委員

分かりました。

○宍戸委員長

丸山公民館さんはいかがでしょう。特別よろしいでしょう。

次に、塚田公民館さんについてはいかがでしょう。特別よろしいですか。

葛飾公民館さんはいかがですか。よろしいですか。

ほかにご質問等がなければ、各公民館からの事業報告については承認するものとしてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○宍戸委員長

ありがとうございます。それでは承認といたします。

次に、議事(2)「令和7年度各公民館の事業計画」を、西部公民館から順次お願いいたします。

○西部公民館長

まず、資料の説明を簡単にいたします。西部ブロック5館の令和7年度年間事業計画につきましても、お手元に様式4のA4のものと、様式5のA3のものをホチキス留めになっている資料を5館分ご用意しています。A4サイズの資料、様式4については、各館が地域の状況と地域の課題、その課題に対する重点目標をまとめた資料でございます。様式4のうしろにホチキス留めされているA3サイズの資料、様式5は、様式4でまとめた地域の状況や課題、重点目標を踏まえた上で、各館が作成した令和7年度の年間事

業予定の一覧表となっております。様式5の中で、番号に丸がついているものは、令和7年度に新規事業として取り組む企画を表しています。本日、各館から様式4と様式5を両方併せて説明をさせていただきたいところなのですが、大変分量が多く、時間に限りがございますので、本日のところはA3の資料、様式5の説明は省略をし、A4の資料、様式4のほうだけを、各館から順番に説明させていただきたいと思います。

なお、本日説明を省略する様式5の内容につきましては、新年度に入りましてから改めて、運営審議会を開催するたびに3か月ごとの事業計画として詳細に資料とし、その都度説明をしてご審議をいただいておりますので、本日は省かせていただきます。また、本日も様式5の中で特に何か気になる事業などがございましたら、ご質問をいただければその点についてはご説明をさせていただきますので、そのような形でよろしく願いいたします。

それでは、ただいまより、西部公民館の様式4の説明に入らせていただきます。資料はA4の資料で、様式4、「令和7年度西部公民館事業計画」をご覧ください。

初めに、「1. 地域の状況」です。西部公民館の管区は船橋市の西部で、市川市と隣接し、本中山1丁目から7丁目と二子町を対象としています。管区内には鉄道の駅が3つあり、昔から交通の利便性が高かった地域で、中山法華経寺の門前町として栄えました。

管区内の人口は、令和6年4月1日時点で2万379人です。補足ですが、このうち65歳以上の人口は4,196人で、高齢化率は20.58%となっており、市全体の高齢化率が23.94%であることと比べると低い状況となっております。管区内唯一の学校である小栗原小学校の児童数は、令和6年5月1日現在872人と市内の小学校の中でも多いほうです。補足ですが、児童数は市内55校中の9番目に多い状況となっております。このように、市の平均より低い高齢化率、および、多くの児童とその保護者の年齢層を考えますと、比較的働き盛りの世代が多く住む地域であると言えます。

続いて、「2. 地域の課題」と、その課題を踏まえた「3. 重点目標」を併せて説明いたします。

地域の課題(1)は、社会教育関係団体数の減少です。コロナ禍や高齢化等の影響により、市全体で社会教育関係団体数の減少傾向が見られていますが、西部公民館においても、令和3年7月1日時点で63団体あったのに対し、令和6年7月1日時点では53団体と減少しており、併せて各団体内の会員数も減少傾向にあります。これに対する重点目標(1)としては、サークル見学・体験会の実施です。補足説明ですが、令和6年11月に、全市的に足並みをそろえてサークル見学・体験会を展開し、西部公民館におきましては、参加した団体が27団体、見学者が65人、このうち入会に至った人が18人という実績があります。参加団体からも好評だったため、令和7年度も引き続き、希望する団体を募って取り組み、新たな会員が加入するきっかけづくりをサポートして、団体

の活性化を目指してまいります。

また地域の課題に戻ります。地域の課題（２）は、デジタルデバイド対策です。デジタルデバイド対策は、これまでも全市を挙げて取り組んできた中で、西部公民館におきましても年間３回の実施をコンスタントに進めてまいりました。これに対する重点目標（２）としては、「初心者向けスマートフォン入門講座」の参加者数は年々減少傾向であるため、令和７年度はより具体的で実践的な、防災アプリの見方やキャッシュレス決済の使用方法を中心に実施することを目標といたします。

再び地域の課題に戻りまして、課題（３）は、西部地区は外国人住民が多く住む地域であるということです。補足説明ですが、令和６年４月１日現在、船橋市に住む外国人住民は２万１,８６０人で、全市民６４万８,５９４人に占める割合は約３.４％となっています。また、船橋市の外国人住民の約４０％は中国人、約２０％はベトナム人で、この２つの国籍だけで船橋市の外国人住民全体の約６０％を占めているような状況です。また、その多くは交通の利便性が高い南西部に住んでいます。これに対する重点目標（３）として、中国やベトナムの文化を知る多文化共生講座の実施や、多言語での館内表示を行い、相互理解の促進と、外国人住民による公民館の利用の促進を目標といたします。

再び地域の課題に戻りまして、課題（４）は、先ほども触れましたように、働き盛りの人の割合が比較的高いと言える地域性であるため、現役世代の仕事のスキルアップや就労活動に直接生かせるような、より実践的な「社会人の学びなおし」事業を旨とする必要があります。これに対する重点目標（４）といたしまして、令和６年度に実施して実益性が高かったリカレント講座「Canva 講座」を令和７年度も引き続き実施し、仕事や地域活動に直接役立つチラシ作成のスキルを身につけていただき、即実践に生かせるような社会人の学びの機会を提供します。

西部公民館の令和７年度の事業計画の概要は以上でございます。

○宍戸委員長

ありがとうございました。

続きまして、法典公民館をお願いします。

○西部公民館長

法典公民館の事業計画を説明いたします。A４の資料で様式４「令和７年度法典公民館事業計画」をご覧ください。

初めに、「１．地域の状況」です。法典公民館の管区は、船橋市の北西で、市川市と鎌ヶ谷市に隣接し、藤原１丁目から８丁目と上山町１丁目から３丁目を対象にしています。管区内の人口は、令和６年４月１日時点で３万１６２人です。補足ですが、このうち６５歳以上の人口は６,１９６人で、高齢化率は２１.１３％となっており、市全体の高齢化率２３.９４％と比べるとやや低い状況です。

地域の特徴といたしまして、地域活動が非常に活発で、スポーツ、文化、青少年、福

祉など、様々な活動が町会・自治会や婦人会などの地域住民団体が主体となって行われている点です。補足ですが、管区内には、小学校が法典小学校と法典西小学校の2校、中学校が法田中学校の1校、併せて3校の学校があり、子ども会の活動も活発に行われておりまして、大変活力のある地域です。

次に、「2. 地域の課題」と、その課題を踏まえた「3. 重点目標」を併せて説明いたします。

地域の課題（1）は、高齢化の進行です。先ほどの説明と重複しますが、法典公民館の管区の高齢化率は21.13%で、市全体の高齢化率23.94%と比べればやや低い状況ではありますが、西部ブロック5館の中では丸山に次いで2番目に高齢化率が高い管区となっております。これに対する重点目標（1）として、高齢者の閉じこもりを減らし、健康な高齢者を増やすため、地域の諸団体とさらに協力、連携を密にしながら、高齢者の外出する機会を増やし、仲間づくりや人とのつながりを大切にする地域づくりの推進を引き続き重点目標の第一として掲げます。

続いて、地域の課題の2つ目は、地域活動の担い手不足です。高齢化の進行と関連して、地域活動を支える役員を担ってくれる人材が徐々に減ってきている状況があります。これに対する重点目標（2）としては、多忙な現役世代に代わり、より多くの高齢者の方々に、これからも生きがいを持って社会参加をしていただけるよう、地域活動の役員を担ってくれる高齢者をさらに増やすことを目標とします。そのためには、まず高齢者が参加しやすい講座を提供し、気軽に公民館に立ち寄れる雰囲気づくりに努めます。

地域の課題（3）は、近年住み始めた若い世代や児童が増えるにつれ、地域とのつながりが希薄化しつつあることです。これに対する重点目標（3）として、地域団体や学校などと連携し、居住歴の浅い住民も、昔から住む住民と一緒に行事などを通して地域と触れ合うことで、地域に親しみを感じられるような取組を目標としてまいります。そのためには、公民館事業だけではなく、町会・自治会が実施する各種行事のサポートにも引き続き力を入れてまいります。

法典公民館の令和7年度事業計画の概要は以上でございます。

○宍戸委員長

ありがとうございました。

続きまして、丸山公民館、お願いいたします。

○丸山公民館長

令和7年度丸山公民館の事業計画、様式4について説明させていただきます。

まず資料についてですが、「1. 地域の状況」について内容を修正したため、別で先ほど配付させていただいております。そちらをご覧ください。よろしくお願いいたします。

それでは、改めて説明させていただきます。「1. 地域の状況」についてですが、丸山公民館は昭和60年4月に法典公民館から分離しました丸山、馬込町、馬込西で構成さ

れております。令和6年4月1日現在で、対象地域の人口が1万7,348人であり、この地域は古くからの住宅地が多いため、高齢者の割合が29.7%と、市全体の24%に対し高くなっております。

「2. 地域の課題」ですが、こちらは記載の3点を挙げさせていただきました。課題に対します重点目標としましては、7点挙げさせていただいておりますが、文化祭や子どもつどいなど、地域の町会・自治会等と引き続き連携を図り、地域住民の連携意識を強め、地域ならではの特色のある活動に協力していくことや、新春に開催している寄席や、ミュージライブまるやま実行委員会と共催で実施している音楽鑑賞などを無料で提供することで、芸術、文化の振興を図っていくことなどを重点目標とさせていただいております。

簡単ですが、丸山公民館からは以上です。

○宍戸委員長

ありがとうございます。

続きまして、塚田公民館、お願いいたします。

○塚田公民館長

塚田公民館令和7年度事業計画、様式4のご説明を簡単にさせていただきます。

まず、「1. 地域の状況」についてです。塚田公民館区は前貝塚町、行田、行田町、旭町、山手、北本町で構成され、令和6年4月1日現在で人口4万9,149人を抱える、市内26の公民館でも最も多くの対象人口を有しています。

まちの景観につきましては、畑作地や低層住宅、高層住宅、また新船橋駅周辺の大規模開発による商業施設などが完成し、令和3年度に塚田南小学校が開校されました。それに合わせて保育園等もオープンしている状況です。塚田南小学校以外では、塚田小、行田東小、行田西小、中学校は行田中、旭中、そして高校は県立船橋啓明高校が教育機関としてあります。現在も戸建てや宅地開発が行われており、今後も数年は新たな転入者によるさらなる人口の増加、景観の変化が続くと見込まれる一方で、従前からの住民も多く居住しており、旧住民との共存によるまちの活性化が望まれるところです。

「2. 地域の課題」につきましては、今も挙げました従前からの住民と大規模マンション等の新たな住民等の共存を課題に挙げさせてもらっています。

2番目につきましては、公民館の利用に関して、若い世代の利用についてを課題に挙げさせてもらっているところです。

3番目、コロナが大分過ぎ去りましたが、今の現状も感染症は影響が少なからずとも残っている状況です。人とのコミュニケーションを取る機会の減少と、自宅で過ごす時間が長くなることで、運動不足を解消できるような仲間同士の交流の場を公民館でも設けていく必要があるというところです。

「3. 重点目標」につきましては、地域の住民に親しまれる公民館となるよう、明る

く丁寧な接遇等をしていく、そして併設である塚田児童ホームとの連携・協働により、公民館事業の充実をしていく、としております。

地域住民に健康教育、趣味などの幅広い学習を提供するとともに、館報「つかだ」をちいき新聞の配布により、さらなる地域に周知をすることで、公民館の運営、活動を分かりやすく利用者に提供していくという形を取ります。

地域の高齢者を対象とし、健康や運動機能の維持、生きがいつくりや仲間づくりの一助となるよう、継続的に高齢者向けの事業の実施に努めていきます。

4番目、学習方法や受付方法を工夫し、幅広い世代に対し様々な学習内容を提供できるよう努めていきます。

地域が抱える課題、今日的な課題等、多様化していくニーズのテーマに積極的に取り組み、事業を実施するように努めていきます。

来年度ですが、塚田公民館は改修工事を8月から予定しております。様式5のほうも、事業に関して7月までの事業となっておりますので、今回は新規事業等は設けていないという状況だけ最後にご説明させていただきます。

塚田公民館からは以上です。

○宍戸委員長

ありがとうございました。

葛飾公民館、お願いいたします。

○葛飾公民館長

葛飾公民館の令和7年度事業計画について説明いたします。

「1. 地域の状況」は、昨年度より大きな変化はございません。管区のエリアは広く、北部には農地もありますけれども、駅周辺を中心に社宅やマンションが多く見られます。人口は多いですけれども、高齢化率は市内では低い水準であることに変わりがないと思われれます。当館は、多くの鉄道路線が乗り入れる JR 西船橋駅から徒歩圏内に位置して、市外を含めいろいろな方面から集まりやすいことが特徴で、特に土日は若い年齢層の方に多くご利用いただいております。今年度は特に工事や改修等のほかの公民館からの施設の利用者が増えております。

「2. 地域の課題」の1つ目は、人と人とのつながりが薄いことが多く、住民相互の交流が希薄である点を挙げました。

2つ目は、1つ目を成人以上と捉えて、青少年についても同様であると考え、課題にしました。管区には市内でも大規模校である葛飾小、葛飾中学校を抱えております。学校や習い事以外で子供たちが地域に愛着を育む場として、楽しく過ごせる居場所が必要であるという点を挙げました。

3つ目として、学びの成果を生かす活動ができる場所や、活動につなげるコーディネーター機能が必要であるという点を挙げました。

「3. 重点目標」の1つ目は、住民が和やかに交流できるような機会の場所の提供として、地域のニーズに対応した事業を実施して、集う・学ぶ・結ぶの役割を挙げました。

2つ目は、学校以外の体験を通じて、楽しく過ごせる居場所となることを挙げました。

3つ目は、学びの成果を生かせる活動の場として提供し、それを継続する場所として、サークル化につながるよう支援していくことを挙げました。

以上となります。

○宍戸委員長

ありがとうございました。

それでは、この事業計画につきまして、ご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。

よろしいですか。中西さん、どうですか。特別ないですか。

○中西委員

はい。

○宍戸委員長

それでは、ほかにご質問がなければ、各公民館からの令和7年度事業計画については、承認するものとしてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○宍戸委員長

ありがとうございます。それでは、承認といたします。

以上で議案の審議は全て終わりました。委員及び理事者の皆様、ご協力ありがとうございました。

それでは、事務局にお返しいたします。

○事務局(西部公民館長補佐)

委員の皆様、本日はご審議ありがとうございました。次回は、令和7年4月17日(木曜日)、午後2時から、会場はこちら、西部公民館の第1・2集会室です。

これをもちまして、令和6年度第5回西部公民館運営審議会を閉会いたします。ありがとうございました。

午後3時08分閉会